



中国地方観光情報 第三弾

島根県編①

広島県大阪事務所では、物産の展示や幹旋、企業誘致、観光情報および雇用情報の提供を行っています。このほか、生の島根を紹介する各種イベントの運営もしており、11月18日（日）には大阪ビジネスパークで「神々の国しまねフェア」を開催します。縁結び屋台村での県内各地の味覚の競演、石見神楽や安来節などの伝統芸能が披露されます。是非お出かけください。

八雲が愛した松江

松江は江戸時代、城下町として栄え、現在は山陰地方の行政・経済面の中心地となっています。宍道湖と中海に面し、また市内には城の堀としてつくられた堀川が何本も流れていることから、水の都といわれ、国際文化観光都市に指定されています。著名な文豪にも愛された松江は、志賀直哉の「壕端の住まひ」、芥川龍之介の「松江印象記」、徳富蘆花の「死の蔭に」に紹介されています。中でも、世界に松江を知らしめたのは、アメリカの出版社の記者 小泉八雲と言われています。

小泉八雲（ラファディオ・ハーン）は1850年ギリシャに生まれました。明治23年（1890）40歳で訪日。島根県師範学校の英語教師となります。松江の風物、人情に魅せられ、武家の娘小泉セツと結婚、武家屋敷に住みました。しかし、冬の寒さと大雪に閉口し、1年3ヶ月で松江を去り、熊本、神戸、東京に勤務しています。ハーン最大の功績は、日本の伝統的精神や文化に心酔し、多くの著書を通じて日本を世界に広く紹介したことです。特に松江を愛し、惚れぬいたことはよく知られます。おもしろいのは、学生時代、数学はいつも0点、国語（英語）はいつも100点の秀才の塊みたいな人だったということ。明治37年（1904）52歳で逝去。主な著書に「日本のお伽噺」「怪談」「日本雑録」などがあります。余談ですが、残された彼の写真はすべて顔の右からの撮影であるのは、16歳の時、ブランコから落ちて左目を失明したことによるそうです。

それでは、宍道湖という大湖をたたえ、千鳥さながらの松江城と、それを取り巻く清冽な掘割り、出雲神話に支えられた歴史の数々、文豪たちを魅了した松江に出かけてみましょう。四季の移ろいに微妙な表情を変える宍道湖は周囲45km、全国で7位の広さを持つ汽水湖です。特に、落陽時は叙情的で、唯



一浮かぶ嫁が島には、湖に落ちて無くなった若い嫁を水神が浮き上がらせたとの伝説があります。宍道湖ジュエリークルージングの遊覧船が11月30日まで運行し、夕暮れ時に松江フレンチを堪能しながらの湖上散策は若い女性に人気です。湖の幸を満喫するには、宍道湖七珍（スズキ、モロゲエビ、ウナギ、アマサギ、シラウオ、コイ、シジミ）を提供する、NHKの朝の連続ドラマ「だんだん」の舞台になった「川京」もおすすめです。

松江城は、望楼様式の天守閣に、外観五層、内部6階の実践本意の体裁の中にも桃山様式の荘重さを備えた名城です。城の北側、堀川に沿って延びる一帯は塩見縄手と呼ばれ、武家屋敷、小泉八雲記念館、八雲旧居、田部美術館、明々庵など古き時代の松江を偲ぶに絶好のポイント。もっと足を伸ばす時や地理に不安な向きには、松江駅発着の周遊バス「レイクライン」を利用すると、1時間で前述の他、松江の主要な観光ポイントを巡ることが出来ます。一方、堀川の水上から散策する、和船の「堀川めぐり」もあります。陸路のレイクラインとは趣の違う視点を、行程3.7kmの中で随所に発見することでしょう。

出雲は神話のくに

縁結びの神社として知られる出雲大社。その言われは、おおくにぬしのみこと大国主命が白うさぎを助けたことをきっかけに、やかみひめ八上比売と結婚したことに由来します。以来、男女の仲だけでなく、誰もが幸福であるように縁を結んでくれるとして祈願の人が絶えません。旧暦10月（かんなつぎ神無月）は、出雲に全国の神が集まるので、出雲ではかみありつき神在月と呼ばれ、「誰と誰の縁を結ぼうか」と会議が開かれます。今年11月28、30日に縁結び大祭が行われ、例年、この時期には全国から2千人近い女性がお参りにくるそうです。出雲大社と並び、縁結びの宮として知られるのが八重垣神社です。須佐之男命が八岐大蛇を退治した後に、いなだひめ稲田比売との結婚を神に誓った言葉、「八雲立つ出雲八重垣妻込みに 八重垣造るその八重垣を」が有名です。現代語に訳せば、「たくさんの雲がわき立つ出雲の国は、雲が垣根のように国を守っているよ。私も妻と住む宮のまわりを、たくさんの垣根をつくって妻を守ろう。出雲の国の雲のように。」との具体的な誓いなのです。二人は結ばれ、日本で初めて神の承認を得て結婚したカップルと言

われています。境内の「鏡の池」は占いの池として人気の的。硬貨を載せた占い紙を池に浮かべてお祈りするものです。良縁がある人は早く沈み、遅い人は縁が遠いという。また近くで沈むと身近な人と、遠ければ遠方の人と結ばれるそうです。真偽のほどはともかく、人生の節目の時期を考えるに、神在月の出雲で自分を見つめ直すには格好の時節かもしれません。



島根県大阪事務所
大阪市北区西天満3の13の18 島根ビル2階
電話06・6364・3605

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株) ファッションビジネス・御堂筋新聞